

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本事情2 (The State of Affairs in Japan2) 2010011-008				担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)			
科目区分	教養科目 (留学生 科目)	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	後
科目特性	知識定着・確認型 AL/協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>日本での生活で気を付けなければならないことを学ぶ。 日本、新潟県、長岡市、日本文化について学ぶ。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>職業人として通用する能力 コミュニケーション能力</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>状況によって、試験のやり方が変わります。試験の前に説明します。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをします。 授業の前：次の授業で勉強するテキストの範囲を予習しておいてください。 授業の後：授業の内容を確認してください。 授業はすべて日本語で行います。 教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話してください。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
<p>できるだけ、日本事情1 (The State of Affairs in Japan1)、日本語 I-1 (Japanese I-1)、日本語 I-2 (Japanese I-2) も履修してください。</p>									
⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安									
<p>(i) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化）について、授業で説明した範囲を十分理解し、90%以上質問に答えられた。 (ii) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化）関連語彙について、授業で説明した範囲であれば、読みを問う問題と意味を問う選択問題に90%以上答えられた。 (iii) 自分の国のお正月や茶道体験に関して、具体的な内容や感想を1000字程度にまとめて発表できた。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
<p>教科書は指定しない。レジュメや公式サイトなどを利用する。新潟県広報誌『新潟県のすがた2022』は、授業の際に各自に配布する。（4月以降、県公式サイトで公表される予定のPDF版も利用予定）</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>金津日出美・桂島宣弘（2017）『留学生のための日本事情入門【改訂版】』文理閣 藤井剛（2016）『詳説政治・経済研究 第3版』山川出版社</p>									

⑧ ルーブリック

評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化について）の理解	授業で説明した以上の範囲を自ら学び、90%以上質問に答えられた。	授業で説明した範囲について十分理解し、80～89%質問に答えられた。	授業で説明した範囲であれば、70～79%質問に答えられた。	業で説明した範囲であれば、60～69%質問に答えられた。	授業で説明した範囲であっても、60%以上質問に答えられなかった。
(ii) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化について）の関連語彙の習得	授業で説明した以上の範囲を自ら学び、読みを問う問題と意味を問う選択問題に90%以上答えられた。	授業で説明した範囲であれば、読みを問う問題と意味を問う選択問題に80～89%答えられた。	授業で説明した範囲であれば、読みを問う問題と意味を問う選択問題に70～79%答えられた。	授業で説明した範囲であれば、読みを問う問題と意味を問う選択問題に60～69%答えられた。	授業で説明した範囲であっても、読みを問う問題と意味を問う選択問題に60%以上答えられなかった。
(iii) 自分の国のお正月、茶道体験に関する発表	自分で作った資料を見せながら、具体的な内容や感想を1000字程度にまとめて発表できた。	具体的な内容や感想を1000字程度にまとめて発表できた。	具体的な内容や感想を500～800字程度にまとめて発表できた。	具体的な内容や感想を500字前後にまとめて発表できた。	具体的な内容や感想を500字前後にまとめて発表できなかった。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法

学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%			15%	15%		100%
(i) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化について）の理解	25%	10%				5%		40%
(ii) 授業内容（新潟県・日本の概要、茶道を通じた日本文化について）の関連語彙の習得	25%	10%				5%		40%
(iii) 自分の国のお正月、					15%	5%		20%

茶道体験に関する発表								
フィードバックの方法	小テストは採点してから返します。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
積極的に授業に参加してください。	
授業時間以外にも、自分で勉強してください。	

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス、 夏休みの宿題発表 新潟県について⑦ 自然と環境、産業、 農産物、観光	夏休みの宿題を発表できるように準備しておく。 広報誌「新潟県のすがた 2022」を読み、分からない単語は調べておく。	60分
2	新潟県について⑧ 観光、交通と国際交流	広報誌「新潟県のすがた 2022」を読み、分からない単語は調べておく。	60分
3	新潟県について⑨ 観光、交通と国際交流	広報誌「新潟県のすがた 2022」を読み、分からない単語は調べておく。	60分
4	日本について① 日本の地理 1	47都道府県の名前と位置を調べる。 各県の県庁所在地（県庁があるところ）の市の名前を調べる。	60分
5	日本について② 日本の地理 2	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
6	日本について③ 日本の地理 3	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
7	日本について④ 戦後日本経済史 1	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
8	日本について⑤ 戦後日本経済史 2	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
9	日本について⑥ 戦後日本経済史 3	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
10	日本について⑦ 戦後日本経済史 4	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
11	日本について⑧ 戦後日本経済史 5	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
12	日本について⑨ 日本のお正月	日本のお正月について調べる。 自分の国のお正月について説明できるように準備する。	60分

13	自分の国のお正月 日本について⑩ 茶道を通じた 日本文化理解 1	自分の国のお正月について説明できるように準備する。 茶の湯と日本文化について、以下を読んでおく。 (表千家不審庵) http://www.omotesenke.jp/list2/list2-3/	60分
14	日本について⑩ 茶道を通じた 日本文化理解 2	茶の湯と日本文化について、以下を読んでおく。 (表千家不審庵) http://www.omotesenke.jp/list2/list2-3/ 和のふるまいについて、以下を読んでおく。 (表千家不審庵) http://www.omotesenke.jp/list5/list5-1/list5-1-1/ 発表の準備をしておく。	90分
15	日本について⑪ 茶道体験発表	和のふるまいについて、以下を読んでおく。 (表千家不審庵) http://www.omotesenke.jp/list5/list5-1/list5-1-1/ 茶道体験について発表できるように準備しておく。	60分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性